

ごみの分別方法が変わります

軟質プラスチック等の分別にご協力を

これまで、可燃ごみとして排出していた軟質プラスチック等の分別収集を四月一日から試行します。そこで、今回はごみの分別について特集します。

なぜ、「ごみの分別」?

なぜ、ごみの分別をしなければならぬのでしょうか?ごみといってもさまざまなごみが私たちの身の回りにはありますが、年々ごみの排出量は増加しています。今、地球環境の保護と限りある資源の有効活用が大切だといわれています。みなさんも聞かれたことがあると思いますが、ごみを増やさないとはいませんが、ごみを増やさないようにするためによく用いられる「3R」という考え方があります。このRとはそれぞれの言葉の頭文字をとったものです。

ごみを減らすために最も重要で効果があるのは、ごみを出さないことです。そのためには、ごみになるものを買わない、利用しないようにすることが重要です。それからリユース(再利用)です。いらなくなったものを捨てる前に(あるいはリサイクルを考えると)、その製品の別の利用法がないか考えることが重要です。裏の白い広告用紙をメモ用紙として利用する、空き缶をペンスタンドとして用いる、などはこの再利用の一つです。そしてリサイクル(再資源化)です。最後にリサイクルを考えるとになります。リサイクルするためには回収の負荷を軽減し、製品を原料化して、もう一度製品を作り直す方法です。前に説明した2つ

に比べれば時間と労力とエネルギーがかかるものですが、ごみとして排出し処分することを考えれば、環境にやさしい仕組みであると考えられています。最近では、もう一つのRとしてリフューズ(ごみになる物の拒絶)を加えて4Rとも言われています。このリフューズとは、最近宣伝もされていますが過剰包装やレジ袋を断るといったものです。

軟質プラスチックって

では、軟質プラスチックっていったいどういったものなのでしょうか。ここで数点挙げてみたいと思います。身近なものといえば、卵のパックや豆腐の容器、スーパーの買い物袋やCDケースなどが上げられます。みなさん一度は手に取られたことがあるものだと思います。



豆腐の容器や卵のパックなど

たことがあるものだと思います。これらの軟質プラスチック類は、古紙や木と混ぜて生成することにより、「RPF」という固形燃料を製造することができます。この「RPF」は、クリーンな燃焼ガス・高い燃焼性があることから、石油等化石燃料の代替品として注目されています。次のページに軟質プラスチックとして収集を行う製品、行わない製品について紹介いたします。

■軟質プラスチックとして収集を行う製品等

主体原料名	主な用途例
ポリエチレン (PE)	スーパー買い物袋、包装用フィルム
ポリプロピレン (PP)	荷造り紐、お菓子の包装紙、インスタントラーメンの袋
ポリエチレンテレフタレート (PET)	写真フィルム、卵パック
ナイロン	合成繊維 (ストッキング等)
ポリスチレン (PS)	食品用トレイ、豆腐の容器、プラモデル、CD・DVDケース、アイスクリーム・ヨーグルト容器
ポリウレタン	スポンジ
ポリオレフィン	CD、DVD
紙	500cc未満の牛乳パックのみ (その他の紙は古紙の日)
木 (竹は不可)	庭木 (直径10cm以下かつ長さ0.5m以下のもの)

※排出する際の注意点

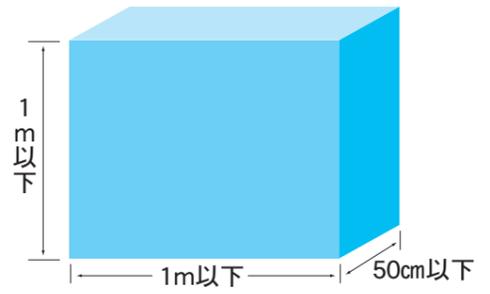
1. 食品用トレイ等汚れがついているものは必ずきれいに洗ってから出してください。(どうしても汚れが取れない場合は、従来どおり可燃ごみで出してください。)
2. 庭木は1週間程度乾燥させてから出してください。(生木は不可)
3. 紙や木は、軟質プラスチック製品と同じ袋に入れて出してもかまいません。

■収集を行わない軟質プラスチック製品等

主体原料名	主な用途例
ポリエチレンテレフタレート (PET)	ペットボトル(ペットボトルとして別の袋に入れてください。)
ポリ塩化ビニール (PVC)	農業用ビニール、ビニール手袋、ビニールホース、人口皮革、レインコート
不飽和ポリエステル樹脂 (FRP)	釣り竿、ヘルメット
その他	牛乳パック (500cc以上のもの)、シャンプー・リンス容器、ハミガキ容器、マヨネーズ容器 (塩素を含んでいるため)

出す袋の目安

袋：透明または半透明
重さ：20kg以下



軟質プラスチック等の出し方

軟質プラスチック等の分別収集は、各地区の「発泡スチロール」の日に合わせて行います。発泡スチロールとは別に、透明または半透明の袋に入れて出してください。袋の大きさは、おおむね縦1m以下かつ横1m以下かつ幅50cm以下、重さ20kg以下でお願いします。収集しない軟質プラスチック製品及び判断に迷う製品については、今までどおり可燃ごみや不燃ごみとして分別に出してください。

最後に

ごみの分別について、町民の皆様には大変お世話になっております。

各家庭からのごみを正しく分別することで、資源の再資源化を図ることができ、ゆくゆくは地球温暖化などの環境問題の解決につながっていきます。

今後も、町民の皆様のご協力をよろしく願います。

四月一日から試行する軟質プラスチック等の分別については、伯耆町有線テレビジョン放送でも三月に特集を行う予定にしておりますので、ご確認をお願いします。また、ごみの分別方法や排出方法についてわからない点などがございましたらお問合わせください。

問合わせ先

住民生活課 生活環境室
電話 68・3115
伯耆町清掃センター
電話 62・1747